

平成27年7月2日
国土交通省
磐城国道事務所

国道115号 阿武隈東道路

小学生を対象に「玉野トンネル」の見学会を開催します

～小学生がトンネルのヒミツを探検！！～

平成27年7月6日（月）に、阿武隈東道路の「玉野トンネル（仮称）」において、見学会が開催されます。

今回の見学会では、好奇心旺盛な小学生に掘削機械見学とトンネル発破を体験していただくことにより、建設業への理解・興味を深めていただければと考えています。

- 日時：平成27年7月6日（月） 9:30～11:00
※悪天候等により変更する場合があります。
- 場所：一般国道115号阿武隈東道路 玉野トンネル工事現場
※取材をされる場合は、別紙案内図を参考に9:30までにお集まりください。
- 主催：西松建設株式会社 玉野トンネル出張所
- 概要：① 工事概要説明
② トンネル工事現場見学
・ トンネル掘削機械見学
・ 発破体験
- 参加者：相馬市立中村第一小学校 児童約59名 引率者5名 合計64名

発表記者會等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
南相馬市役所記者クラブ

問い合わせ先

【見学会に関するお問い合わせ】
西松建設株式会社 玉野トンネル出張所
現場事務所 0244-26-5462
現場代理人 楠瀬 竜太郎

【事業に関するお問い合わせ】
国土交通省 東北地方整備局
磐城国道事務所 0246-23-2211(代表)
副所長 千葉 富彦 (内線204)
工務課長 岩淵 誠 (内線411)

【工事に関するお問い合わせ】
磐城国道事務所 相馬出張所 0244-35-1145
建設監督官 田中 信二

玉野トンネル 小学生現場見学会

【案内図】



©2015 Google, ZENRIN

【詳細図】

現地 入口には看板が並んでいます。
入口の目印にして下さい。
なお、駐車場所は、当日現地でご案内します。



©2015 Google, ZENRIN

あぶくまひがし ①阿武隈東道路 進捗状況

(平成27年6月現在)



あぶくまひがし
阿武隈東道路 延長10.7km

平成28年度 完成2車線開通目標



【事業経緯】
H16年度 事業着手
H18年度 工事着手
H28年度 開通目標

【H27年度事業内容】
・東槽道橋、西槽道橋、
玉野トンネル 工事中

国道115号 ^{たまの}玉野トンネル工事概要

(平成27年6月現在)

■ 工事概要

工事名：国道115号 玉野トンネル工事

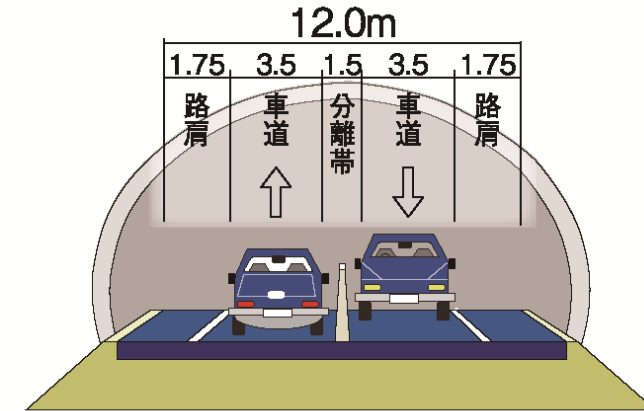
施工場所：福島県相馬市玉野字東玉野 地内

工事内容：トンネル延長 L=968m (6月28日現在532m)

道路幅員 W=12.0m

NATM工法 (新オーストリアトンネル工法)

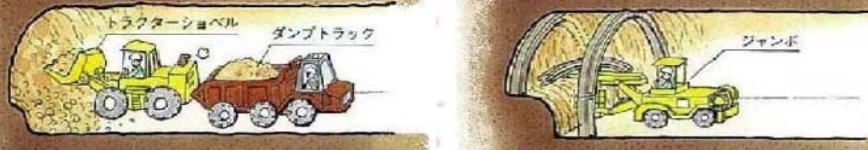
トンネル幅員



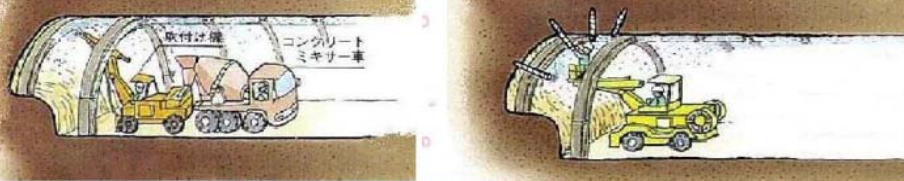
3ブームホイール式ジャンボ



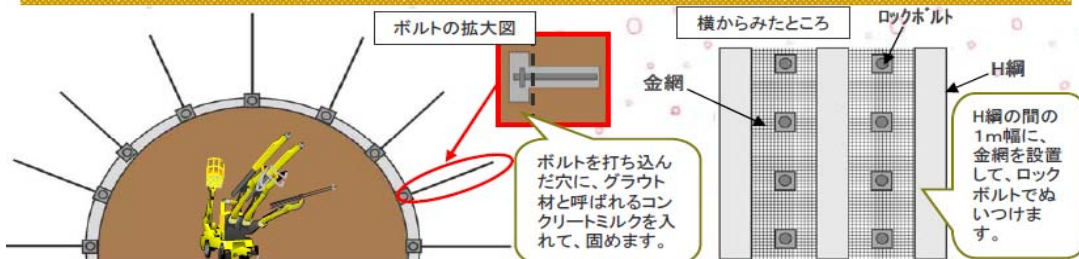
①ドリルで穴を開け、そこに火薬をつめて爆発させ、岩を砕きます。



②砕いた岩を外に運び出し、トンネルが崩れないように金属の支えを一定間隔で設置します。



③すぐに固まるコンクリート(厚さ20cm)を吹き付けて、表面を安定させます。



トンネル施工状況写真

【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

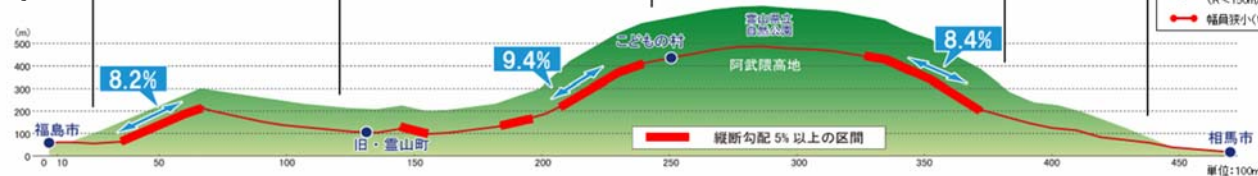
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



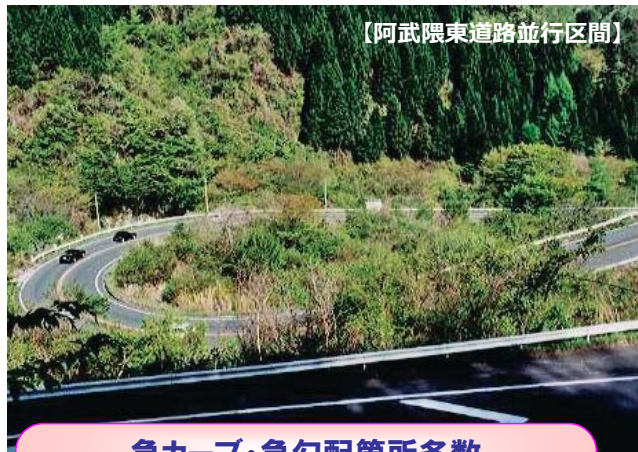
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

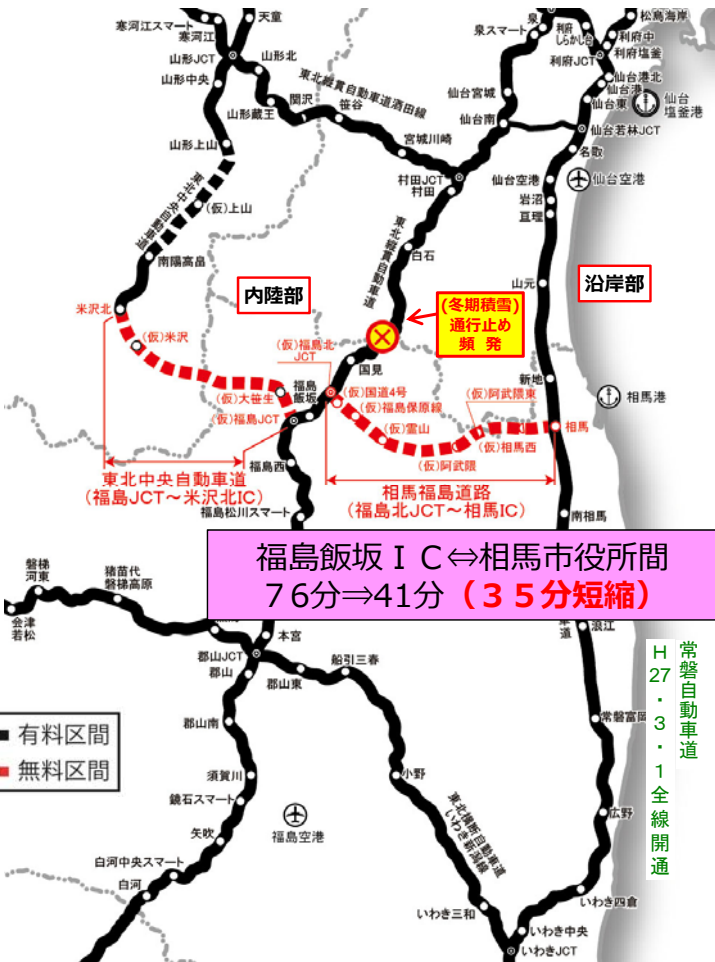


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



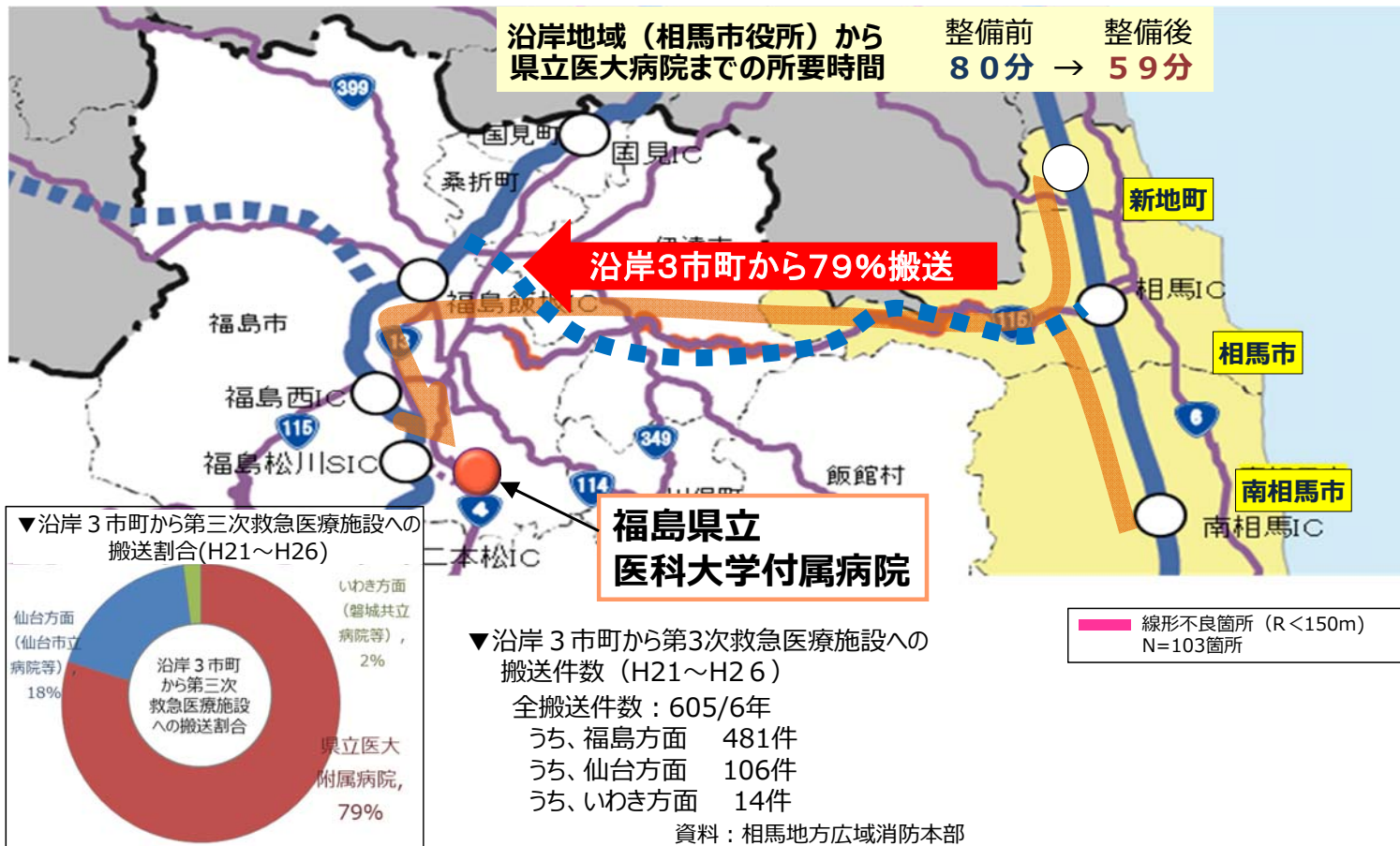
国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

- 緊急輸送道路 (第一次確保路線)
- 防災上の対策が必要な箇所 (26箇所)
- 通行止リスク箇所
- 津波浸水被害エリア

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



相馬港